

Q

市管理河川への水位計・監視カメラ増設の必要性は



み た べ つね あき
三田部 恒明



映像は
こちらから

A 重要なポイントには既に設置済みとなっている

助成金等を活用してもらい、市は関係各課と連携し協力していく。

Q 食品ロス削減推進法・削減推進計画策定への取組状況について。

A 埼玉県の策定状況を注視しながら研究を進めていく。



つ の だ よ し の り
角田 義徳



映像は
こちらから

Q

地域通貨ネギーを他市町村に広げる考えは無いか

A 面白い考えだが、まずは市内でうまく循環させたい

買い物をしてもらう仕組みである。

Q マネンバーカードの活用について

A 各種証明書のコンビニ交付の開始時期は、また、その周知方法は、

Q カード取得率の向上や、行政窓口の混雑解消にもなると思うので、コンビニ交付を利用する際、いくら(百円程度)の割引を提案したい。

A 他市町村の例も参考に研究するが、導入コストの関係もあるのが現時点では、割引することは考えていない。窓口と同額にしたい。



映像は
こちらから

Q 抽選販売を行うようだが、その方法は、また、市民を優先するのか。

A 抽選については申し込みの重複等を確認したうえでコンピュータ上で実施する。また、昨年度の販売時は94%以上が市民の購入であり、外貨獲得といった地域通貨の展開も考慮し、市民優先は設けない。

Q 近隣自治体がPayPayと協力して緊急経済対策事業を行っているが。

A PayPayはプレミアム分が販売した自治体を問わず全国のごくでも使える。ネギーについてはプレミアム分も市内の取扱店で利用するため、より地域経済の刺激に貢献できると考える。また、PayPayは利用者がスマホを持っていることが前提となるが、ネギーではスマホアプリかカードかを選択できる。さらに、専用券、共通券の考え方を採用し、地域の中小店舗でより多くの



Q

友好都市は何市あるのか

A 3市1村である



こ じ ま た か し
小嶋 隆



映像は
こちらから

Q 友好都市締結の目的は。

A 新潟県南魚沼市、岩手県田野畑村、静岡県藤枝市、群馬県富岡市の3市1村であるが、友好関係をさらに推進するとともに、文化、教育、芸術、経済など幅広い分野における交流を通じて、更なる発展と互いの理解と連帯を深める目的である。

Q 友好都市との交流内容は。

A 南魚沼市とは、「子ども自然体験村」コシヒカリの郷における小学生の交流や、雪まつりにおける市の特産品の販売を行っている。また、田野畑村とは、小学生が交互に訪問を行っている。またサケの稚魚を利根川に放流する事業を行っている。藤枝市については、道の駅おかべのイベントへの参加、特産品である新茶のPRを実施したほか、市からも藤枝市の産業祭に参加し、市の特産品のPRを行っている。富岡市については、市から富岡市産業祭や富岡

まちなか文化祭に参加している。

Q 新たな友好都市との締結は。

A 市としては、新たな友好都市の締結は、これまでの民間交流や行政間交流、歴史的背景などをふまえて総合的に判断する。そのため、現段階では新たに友好都市を締結する考えはない。

Q

農業全般に関わる課題等について

A 生産者の要望と参加企業のマッチングの段階である



ゆ も と て つ あ き
湯本 哲昭



映像は
こちらから

Q コンテスト入賞企業のその後の展開は、どうなっているのか。

A グリーンラボ(株)は、進出場所や生産者との共同で行う実施方法について、最終調整中である。(株)プロペラは、学校給食における地産地消率の向上に向けたアプリ開発を、学校給食現場とのヒアリングをしながら始める段階である。

Q 今年度のアグリテックコンテストの取組は。

A コロナ禍のため、オンライン審査で実施中である。昨年度を上回る応募があり、現場導入部門13件、未来創造部門15件である。最終審査は非公開で行うが、表彰式などのお披露目は、動画を公開し、インターネット上でも広く周知PRしていく。

Q コンテスト参加企業以外からの働きかけや事例は。

A ドローンを使ったセンシングの技術を持つ企業とJAをつなげた事



ロボットによる防除作業の実証実験

例がある。これはドローンを使って上空からプロットコーの圃場約90ヘクタールを撮影し、撮影データを蓄積して、生育状況などを判別し、将来的に収穫日を予測するものであり、今は実証実験を開始した段階である。また他にもデジタル技術やICT等を駆使した技術も、生産者とのマッチングを模索しながら計画している。

Q 「農業課題データバンク」とは。

A 課題を抱える農民生産者と、課題解決の技術を持つ企業をつなげていく仕組みであり、アンケート等の集計データの蓄積と、未来技術を深谷の農業に生かしていく取組である。